

3つの柱

生徒を育成します。



スポーツ教育

を通して、健やかな心を育む

の授業を行います。を学び、体力や健康、けます。また、専門各競技の高体連タイムの授業をており、2つある



日体大附属は

みんなで **Nsports** に取り組んでいます

本校で行うスポーツ活動全般を「**Nsports**」と呼び、様々なスポーツにトライしています。

陸上 水泳
卓球 Nトライ 武道

自分に合ったプログラムで活動できる、個性を生かせる体育授業。様々なスポーツを学び、経験することで、楽しさや喜びを実感し、自信につなげることを応援する。これが本校の教育スタイルの1つです。

3 情操教育

芸術、ダンスなど様々な学習を通して豊かな感性を養う

豊かな感受性を養い、充実した生活を送る目的で芸術(音楽・美術)などの授業を行います。校舎3階ワンプロアすべてが情操教育に対応した特別教室を設置して

ます。自分の興味関心を最大限に生かせる空間として、授業だけでなく休み時間等も利用できます。



屋内走路 (NARS(ナース))

国内最大級の室内走路
~150M・4コース

天候を気にすることなく本格的な陸上トレーニングができます。

E-mail fuzoku.info@s-nittai.ed.jp



<http://s-nittai.ed.jp>



日体大附属 検索

Facebook にアクセス

進路先ご紹介

進学

- ・北海道立北見高等技術専門学院 <建築技術科>(北見市)
- ・北海道はまなす食品能力開発センター <北海道立札幌高等技術専門学院食品加工科>(北広島市)
- ・東京リゾート&スポーツ専門学校(東京都)
- ・名古屋市立中央高等学校(愛知県)

就職

- 一般就労
- ・NPO法人北見冬季スポーツ振興会(北見市)
 - ・NPO法人遠軽町スポーツ協会(遠軽町)
 - ・株式会社清香社(網走市)・株式会社日比谷花壇(神奈川県)
- 福祉的就労(B型、移行支援)
- ・美幌えくぼ福祉会「えくぼ」(美幌町)
 - ・社福・永春会プレジール秋桜(千葉県)
 - ・くしろジョブトレーニングセンターあらんじえ(釧路市)
- 自立訓練
- ・クリーンリースウェルフェア(江別市)
 - ・NPO法人てくてく カフェギャラリーてくてく(長野県)
 - ・ゆたかカレッジ長崎(長崎県)

先輩からのメッセージ

私が日体大附属に入学したいと思った理由は、体育を中心とした授業にひかれたことです。全国各地から個性豊かな17人の一期生が集まり、苦しい時はなんでも話せて支え合える仲間ができました。先生方の熱心な指導により、自分自身も大きく成長できた充実した3年間を過ごすことが出来ました。また信頼できる先生方の支えがあり、目標にしていた進路先も決めることができました。

私は現在北見高等技術専門学院の建築技術科へ通っています。この学校は2年間でいろんな資格を取得し就職に力を入れていて、先生方や先輩たちは、明るく優しい方たちなので楽しく過ごせています。私の目標は、一級技能士を取得する事です。そのために、少しずつ頑張っていこうと思っています。

日体大附属の3年間は様々な面で自分を成長させてもらえる、貴重な高校生活だと思うので、是非充実した3年間を過ごしてもらえたらと思います。



葛西くん (東京都出身)

進学

就職



遠藤くん (東京都出身)

学費

入学時手続き金	入学金	150,000円
	施設整備負担金	150,000円
学費(月額)	授業料	33,000円
	給食費	10,000円
寄宿舎費用(月額)	寮費	30,000円
	食費	30,000円

※その他諸経費として、年間約20,000円を予定しています。
※2年次・3年次進級時に、施設整備負担金50,000円を納入していただきます。

学費をはじめ、生活費や自宅への帰省費など、様々な面の金銭的負担が軽減または補助される制度があります。

詳しくは本校までお気軽にご相談、お問い合わせください。

【授業料の負担軽減】

国の就学支援制度・北海道の私立学校授業料軽減制度

一定の収入額未満の生徒の世帯に対して、授業料等に充てる支援金を国及び北海道が支給し、家庭での教育費負担を軽減する制度です。返済は不要です。

就学奨励費

障がいのある生徒の教育関係経費について、世帯総所得により、保護者の負担を補助する仕組みです。支給は保護者の申請に基づき行われます。

網走市からの入学支援補助金

北海道網走市のまちづくり事業として、本校保護者の入学時の経済的負担を軽減するため、入学確定後に入学金の150,000円を支給する制度です。



挑戦!!

オホーツクの大地で獅子吼する!
ほえろ!

NITTAIDAI 日本体育大学 附属高等支援学校

生徒の育成

生きる力を培う
スポーツ・労作・情操の3つの柱で、
基本的な生活習慣を身に付けた



第一体育館



第二体育館



グラウンド

1 スポーツ

体育、部活動
たくましい体、

週10時間(年間350時間)保健体育
全生徒が器械体操や球技、武道など
ルールとマナーを守る姿勢を身に付
けた技術の習得や陸上、卓球、水泳の
大会での活躍を目指し、**Nスポーツ**
行っています。スポーツ施設も充実し
体育館には柔道場やト
レーニング機器を完備
し、屋外グラウンドをは
じめ、国内で2例目となる
オールシーズン対
応の150m直線走
路があります。



2 労作教育

作業実習、就労実習を通して
働くことの楽しさ、尊さを培う

週8時間(年間280時間)作業学習(農業・園芸・木工・環
境サービス・陶芸・受注・陶芸等)の授業を行います。こ
の授業では卒業後の社会自立することを目指し、様々な
体験的学習活動を通し
て得意なことを伸ばし、
不得意なことを克服す
ることで、自信へとつ
なげることを目的と
しています。



調理室



実習室

お気軽にお問い合わせください



学校法人 日本体育大学
日本体育大学附属高等支援学校
Educational Foundation of Nippon Sport Science University Group
〒093-0045 北海道網走市大曲1丁目6番地1号
TEL : 0152-67-9141 FAX : 0152-67-9142

生徒一人ひとりの「やりたいこと」を実現する



フィールド学習は北海道の大自然が教材です

本校の学習カリキュラムで行っている自立学習や総合的な探求の時間に机上で学習した内容を元に、実際に目で見て、肌で感じる学習を月に1~2回程度実施しています。本校所有のマイクロバスを使用し、北海道オホーツクの大地を駆け回ります。世界遺産「知床」をはじめ、大自然を満喫できる壮大なスケールの学習活動です。

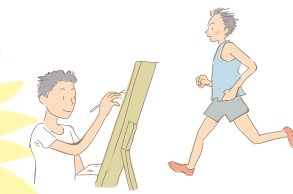


合わせた指導および道德

		単位数
各教科別の指導	保健体育	10
	数 学	1
	英 語	1
	情 報	1
教科等を合わせた指導	作業学習	8
	自立学習	4
	芸 術	2
	日常生活の指導	5
領域別の学習	自立活動	1
	特別活動	1
	総合的な探求の時間	1
合 計		35

自立学習: 自立活動と国語や理科、社会等の教科を合わせて行う
 芸 術: 音楽と美術、自立活動を合わせて行う
 作業学習: 職業と家庭科、自立活動を合わせて行う
 日常生活の指導: SHR、更衣、給食準備・片付け
 道德は全教育活動を通して、適切に実施する

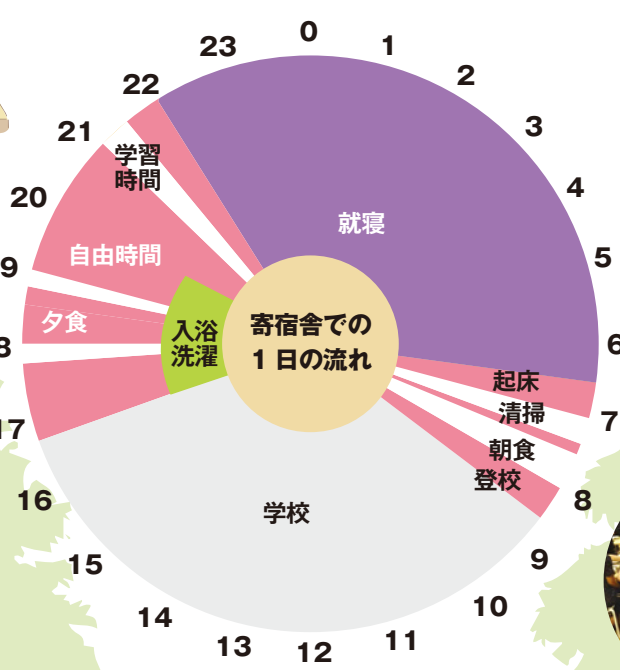
本校は、学校教育方施行規則130条2による各教科等を合わせた教育課程を編成しています。



生徒の1日

実りある3年間を支える生活の場

共同生活を通じて、コミュニケーション能力を養い、社会参加するための基礎を身につけます。



仲間との絆を築く生活の場

寄宿舎は校舎と併設しているため、安全に登下校を行うことができます。また、下校時に負担がないことから、勉強や部活動にも集中しやすいでしょう。指導員が常に控えており、万全のサポート体制を敷いています。



休日の過ごし方

寄宿舎では、学校生活や部活動での疲れを大きなお風呂で癒し、広いラウンジで学年問わず交流を深めています。また土・日・祝ともに開舎しており、様々な地域行事(ボランティア、祭り、スポーツ観戦)や生徒自ら企画したイベント(バーベキュー、菓子パン作り、将棋大会、花火大会)を開催して日々楽しく過ごしています。



自然に恵まれた地の利を利用して心躍る体験を作り出し、豊かな人間性を育みます

生徒の1年

春



入学式(4月)

夏



小清水原生花園(6月)
総合学習の時間に、草花の観察・スケッチを行います。



ワッカ原生花園(6月)

秋



オホーツク網走マラソン(9月)
全国各地からランナーが訪れるマラソン(5km)に参加します。育てた野菜の販売も行います。



現場実習(9月)
グループごとに様々な職場を体験し、仕事の楽しさや厳しさを学びます。

冬



カーリング体験(2月)



スキー学習(2月)



芝桜公園(5月)



高体連集約大会(5月)
他学校の高校生たちと競い合い、練習の成果を発揮できるように頑張ります。



宿泊研修(6月)



学校祭(9月)
作業学習で作成した作品を販売しています。



修学旅行(11月)



流水観氷砕氷船
おーろら号乗船(3月)
オホーツク海を一面に覆う流水の迫力に圧倒されます。



卒業式(3月)